

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英会話
科目基礎情報						
科目番号	0142		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	土木建築工学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	Side by Side 2					
担当教員	長戸 喜隆,マイカ マーシー,倉増 泰弘					
到達目標						
To get the students' English proficiency to a level between pre-2nd and 2nd grade in the STEP.						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	can describe opinions in English clearly		can describe opinions in English moderately clearly		cannot describe opinions in English	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 2 JABEE f						
教育方法等						
概要	Use of the text as well as conversation with a native speaker and testing.					
授業の進め方・方法	Generally the text will comprise a bulk of the class work. But supplementary material will be used at each teacher's discretion.					
注意点	Grades will be 80% test based and 20% based on attendance and participation.					
授業計画						
前期		週	授業内容		週ごとの到達目標	
	1stQ	1週	Introduction		Explanations on how to take this course, how to prepare for the test etc.	
		2週	Unit1		Lifestyles	
		3週	Unit1		Lifestyles	
		4週	Unit2		Leisure	
		5週	Unit2		Leisure	
		6週	Unit3		Getting along	
		7週	Unit3; Review		Getting along; Teacher's Choice. Questions and answers	
		8週	中間試験		Basic but practical examination covering what has been taught so far.	
	2ndQ	9週	Review,Unit4		Giving correct answers and explanations.	
		10週			Interests	
		11週	Unit4		Interests	
		12週	Unit5		Telling a story	
		13週	Unit5		Telling a story	
		14週	Unit6		Celebrations	
		15週	Unit6; Review		Celebrations; Teacher's choice Questions and answers	
16週		期末試験		Basic but practical examination covering what has been taught so far.		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	Attendance/Participation	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0